浜松南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

笑った！がんばった！行事報告

平成元年も残すところわずかとなった。振り返ってみると今年の二学期もいろいろな行事が行われた。大盛況を得たわけではないが、どの行事も高校生活の思い出のひとこまとなったのではないだろうか。

古都を訪ねる意義は？ 修学旅行

一年ブ博・三年HR別活動 遠足

去る十月十七日から二十日までの四日間、例年通り、二年生の京都・奈良への修学旅行が行われた。

二年生はどのクラスも一グループ六人ぐらいの班に分かれ、思い思いの場所を見学し、京都奈良の良さをそれぞれで満喫した。

そこで二年生数人に修学旅行の感想を聞いてみた。

――宿泊場所はどこでしたか？

奇数クラスは、京都シティーホテルとホテルタマルで、偶数クラスは、パレスサイドホテルとむさし野ホテルというところです。

――お小遣いはいくらぐらい持って行きましたか？

一万円と電車代で、だいたい二万円から二万三千円ぐらいです。

――おみやげは、だれに何を買って来たんですか？

後輩には、だいたい三百円ぐらいのキーホルダーみたいなもので、家族には、八ツ橋や、州浜団子などの食べ物類です。

――何時ごろ寝起きしたんですか？

朝は、六時から六時三十分ぐらいに起きて、夜は、十一時から十二時ぐらいの間に寝ました。

――楽しかった事は何ですか？

ふとんをかぶせて、なぐって遊んだことや、部屋から電話がつながったので、電話をかけまくったことです。

――行って良かった所はどこですか？

奥入館、金閣寺やタレントショップのたくさんあった嵐山など。あとはクラスで行った保津川下りで急流の所が面白かったです。

――失敗談などはありますか？

ホテルの集合時間に遅れてしまったこと。各班での自由行動だったのですが、計画通りに行かず、ばらばらになってしまったことです。

――この辺りと違う所は何かありましたか？

京都の女子高校生のスカートはミニでした。

――最後に全体の感想をお願いします。

疲れました。けれど、とても楽しかったです。

このようにして行われた修学旅行だが、二年生のみなさんには良い思い出となったことだろう。

また、良かった所で、タレノショップのあった嵐山という辺りは、現代っ子らしさを感じさせられる。もちろん、景色が良かったという人も多いかとも思うが……。

修学旅行は、小学校や中学校でも行われる大きな行事の一つだが、毎年ある行事ではないので、その分行く前の楽しみも大きかったことだろう。

行き先が京都・奈良ということで、中学の時にも行ったという人も多いかと思うが、また中学の時とは一味違った感覚で見ることができたのではないだろうか。

高校生としての責任ある行動が求められる。来年も本校は京都・奈良で修学旅行を実施するようだ。いずれも日本の古都である。

風光に優れた古都を、来年もう一度訪ねる二年生が自分自身の目で味わうことを期待する。

情緒あふれる保津川下り

雨にも負けず、寒さにも負けず 体育大会

去る十月三日に、校内体育大会が行われた。今年から新たに応援合戦も加わり、今までとは趣向の異なった体育大会になった。

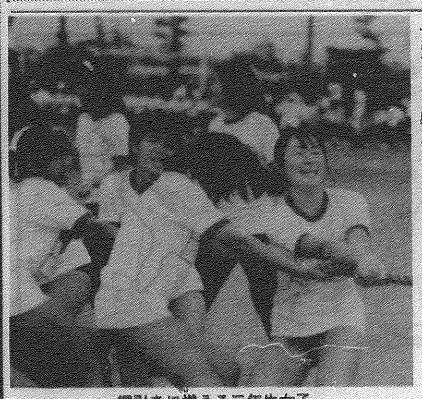
しかし、実際には文化祭ではりきりすぎた？せいか体育大会の方は全般に盛りあがりに欠けたようであった。特に百m走や高飛び、砲丸投げなどはあまり注目されずにいつの間にか終わっていたという感じだった。まちよいか勝手がわからず、ずいぶんとまごついていたようだ。

綱引きは三年女子だけの競技だったため、こちらも注目されずに終わってしまった。反対に対抗リレーなどは体育大会の目玉とあって、やはりずいぶんと盛りあがった。

今年から行われることになった応援合戦では、31日が見事に優勝した。さすがは三年生一実を結んだ。仮装行列と応援合戦が全然聞こえずしらけてしまう場面もあった。

さてこの応援合戦だが、実は生徒会本部が長年やりたいと思って、熱心に努力してきた企画である。その努力が今やっと加えて、いったい何をやっているのかわからなくなったり、声しかし、ほとんどの日Rはのは戦のどちらかをやれることになり、希望の多かった応援合戦をやることになった。しかし、本部がそれだけ熱心に進めてきたこの企画が実際には全般に盛りありに欠け、時間不足、準備不足も重なってあまり生徒会としては喜べない結果となったようである。

来年は本部、体育委員会、そして生徒が早目に準備にとりかかり、よりすばらしい行事となるようにいろいろな面で努力すべきではないだろうか。そして一般競技、その他の種目とともに、より一層の充実に向けて、力を注いでほしいものである。


綱引きに燃える三年生女子

ビール缶の人形の前で

人を語る

菅沼義也先生

よみがえれ南高 菅沼義也先生

プロフィール
浜松北高、静岡大学卒業後化学の教師となり今に至る。本校の野球部長として、今年二回戦進出の野球部を支えた。化学を教えるかたわら、遠足や遠学の話をHRで楽しくお話しになっていらっしゃる。

今回は、化学の菅沼義也先生にご登場いただいた。

現在の南高生はいかに、ということで学生の本質にせまるお話をお聞きし、たいへん反省させられた。

さて、先生の学生時代においては勉強をする気のある人だけが高校に来ていたそうで、今の南高生は本当に大学に行きたくて高校に来ているのか分からないとおっしゃっていた。目的意識が低いという点は致命的である、悪い点をとってもはずかしいとも思わない生徒がいるのが情けないという人が多かった。今の一年生は、関西地方の修学旅行である。一年の時のHR活動で得た教訓を生かすべく、下調べや計画をしっかり立てて、ゆとりとけじめがあり、よい思い出となる旅行にしたいものである。

近年の進路状況について十年前は国公立大に上位十五パーセントまでが入ったが、二、三年しだいというのである。それも努力なしの挫折感というのはありえない。

先生は、高校二年の時に父親も中途半端であるから、自分の目標に向かってがむしゃらに、ひた向きに努力してほしいと言われた。

話しを終えて、先生の生徒を見つめる正しい目と温い心を感じた。

言葉を強調されていた。挫折による悩みや苦しみを味わってほしいというのである。それも努力なしの挫折感というのはありえない。

昔は、波瀾万丈であっても運動会であっても、もっと盛りあがったそうである。今は何ごとにも平和と幸福を求めて学び耐えて鍛えることが必要である。

清掃ひとつをとっても言われないことはやらない。言われてやるのは中学までで十分だということである。勉強においても求めて学び耐えて鍛えることが必要である。

昔は、バス、電車の中でも英単語を覚える生徒や、朝暗いうちから校歌をラニングする陸上部の生徒や、自分から進んで下駄箱をきれいにする生徒がいたそうである。生徒がもっと自主性をもってくれることを望んでおられた。

そして、「千円札の吉葉は何歳でしょう。」という見出しで十一月十四日の日本経済新聞のセゾングループの広告におもしろい記事が載っていました。

吉葉とは御存知、夏目漱石のことです。今の千円札の表でドッシリ構えて、こっちを見ている姿、実は四十五歳のときの写真をもとにしたものなのです。あの落ちつき、威厳から、六十歳ぐらいだと思っていた人も多いでしょう。

日本が高齢化社会になっていくとか、近頃の若者気質がどうだとか、物事を年齢のモノサシをつかって考えるのは、日本人の習慣になっているようです。しかし、年齢なんて、人間がもっている無数の要素の中の、ほんのひとつにしか過ぎない――そんな見方を、たまにはしてみたらどうでしょう。

夏目漱石は、四十九歳でこの世を去っています。五十歳の人より一つ年下なんですね。幕末の時代、薩摩同盟、大政奉還に力をつくした坂本龍馬は、一八三五～一八六七年の三十二歳でその命を燃やしつくしました。『羅生門』『蜘蛛の糸』の芥川龍之介が三十五歳。樋口一葉は二十四歳。宮沢賢治が三十七歳で、一握の砂の石川啄木はたった二十六歳の若さで他界しています。このように後世に名を残すような人は、早くして亡くなってしまった事が多いようです。彼らは短い年月の間になにかを追いつづけ、そして消えて行きました。それに比べて私達は、若いからできないという固定した考え方や、周囲の声を気にしているうちなことをつまらなくしたり、ダメにしたりしているケースが結構あるでしょう。

私達は、高校生という言葉にこだわり過ぎているかもしれません。人に負けないビックな事をしたいと思いませんか。

遠州灘

古典落語 ―芸術鑑賞―

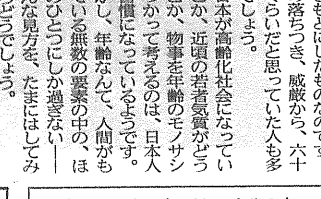
去る十一月十一日に芸術鑑賞として日本の伝統芸能の「古典落語」が本校体育館でおこなわれた。

初めに三遊亭円弥のあいさつがあり、その後に「鴨物教室」として、落語の実演が行われた。

開演から終演までの音楽鑑賞、太鼓、三味線を使って楽しく説明してくださった。その後に、実際の落語があり、中入り（休憩）の後に、曲芸、円弥の落語と続いた。中でも「仙三郎、仙之助の曲芸は凄まじく、まず手拭い、私達の目の前でこま回しにまわしてくださった。

さて今回、芸術鑑賞として「落語」を楽しんだわけだが、中学の芸術鑑賞で「落語」を見たことがある人がいたようだ。しかしそれも一部の人だけであって、TVで見たことがある人ほとんどが初めてという人がほとんどだったろう。感想を聞いてみると「落語」のような昔からある日本の古典芸能に親しむことは少ない。今、まさに国際社会、何かと海外のことに関心を向けることが多いが、日本に昔からあるものにも関心を向けたいものである。

しかし、自分達のほうから「落語」のような昔からある四畳半のお座敷で、羽織袴で、金屏風をバックに、扇子と手拭いだけで、あれだけ多くの人を笑わせるというのは、なかなかできることではない。


三遊亭円弥師匠

寒風に負けず力走！ ―校内マラソン大会

今年も好天にめぐまれ十一月がんばっちゃいました」と語ってくれた。

二十九日にマラソン大会が行われた。一時三十分に女子が、続いて十分後に男子がグランドを一斉にスタートした。この日は風が一段と強く走りにくかったが、途中先生方の応援もあり、男子十km、女子六kmの距離をゴールをめざした。どの人もいつも以上の力を出してがんばったようである。上位入賞の男女二十名、そして特別賞当選者には先生方から賞品が贈られた。

また、参加者全員にグリコのおまけつきキャラメルが配られた。男子優勝者の中山男人君は「ゴールした時はうれしかったと同時にホッとしました。」女子優勝者の宮崎利子さんは「陸上部の友達には『一位じゃなかったら退部するぞ』と言われなかったので、一位取りなよ」と言われたので、

―個人男子の部―
一位 中山 男人 23 (35分01秒65)
二位 青村 公臣 11 (36分07秒65)
三位 山村 豊信 24 (36分26秒61)
四位 松岡 正修 25 (37分38秒84)
五位 野嶋 茂巳 14 (37分52秒56)

―個人女子の部―
一位 宮崎 利子 28 (27分35秒4)
二位 稲垣 睦美 18 (27分42秒4)
三位 西川 和子 20 (27分42秒92)
四位 山本 真弓 12 (28分12秒65)

購買委員会
営業時間
12：50～13：10
15：40～16：00

正しいメガネでしあわせを…
メガネの吉田屋
広小路店 浜松駅前広小路通り ☎53―1488代
旭町店 浜松・旭町（浜松郵便局前） ☎54―0501代
高台店 浜松・幸二丁目（ユニー前） ☎73―0115

贈りものに
全国共通図書券
教科書・新刊書籍・雑誌
参考書・各専門図書・地図
文泉堂書店
〒430 浜松市連尺町314－1 TEL54－6358代表

本・レコード・ビデオレンタルの店
BUN GAKU KAN
イケヤ文楽館 高台店
駐車場30台収容
夜11時まで営業
（年中無休）
BOOK&RECORD
イケヤ
本店 浜松市田町有楽街 〈0534〉52－5151
鍛冶町店／文楽館高林店／文楽館高台店
磐田店／aiai磐田店／掛川店／袋井店／浜北店

谷島屋書店
YAJIMAYA
本店 〒430 浜松市連尺町309-1 ☎〈0534〉53－9121(代)
リブレモール●鍛冶町モール街
松菱店●松菱デパート8階
遠鉄百貨店●5階
駅の谷島屋●コスタ内
メイワン店●砂山町
駅南店●領家町
なかざわ店●中沢町
毎日ボウル店●有玉南町
浜団地支店●遠州浜2丁目
浜松医大売店●半田町
聖隷病院売店●住吉●三方原

コンタクトレンズの視力矯正は
良い製品と優れた技術に基づいて処方して下さい。
コンタクトレンズは、ハードで連続装用の時代。
The コンタクトレンズ
メニコンEX
眼科医の指導のもとで「つけたまま眠れる」連続装用ハードコンタクトレンズ。
・酸素透過性はメニコンO_2の5倍。
・ハードタイプによる確かな視力矯正。
・最長一週間、連続装用可能。
・手入れ簡単、煮沸消毒不要。
★広告持参の方、学割有り。
メニコンO_2-32
メニコンソフトM
プレスオー
シードHi-O_2第1
ソフィーナ
●定休日/日曜・祝祭日
浜松 コンタクトレンズ
分割払いのメニコンクレジットも取扱っています。
浜松市元城町219-20（市役所南筋向い） 駐車場完備
詳しいことはお電話で ☎(0534)53-3030

HOMESTAY IN U.S.A

自由国!! アメリカ！でも…

一昨年度六月、社会福祉団体ロータリーから一年生にアメリカのホームステイの公募があった。たくさんの希望者の中から選ばれた三人が、昨年八月から本年八月まで一年間アメリカに滞在した。その間には、失敗、喜び、発見――数えきれない出来事があっただろう。今回は三人に帰国後初の座談会の場を設け、喧喧囂囂語り合ってもらった。

――アメリカへ行った目的、または動機は何ですか。

内山　友達を作ること。

三輪　異文化を知る。

坪井　みんな当たり前に中学出て高校行って大学行って、みたいだったから、そういう型にはまるのが嫌で、ちょっと人と違うことをしてみたいなって。

自由な校風

――学校の授業の様子はどうでしたか。

三輪　日本よりずいぶん自由で、発言も日本に比べてとても許されている感じ。

三輪暁矢佳(23)
南陽中出身
放送部
ニュージャージー州、リングウッドに滞在

内山　話さないだけだよ。日本人が。

坪井　生徒はガムかんでるし化粧はしてるし。

三輪　そう。授業中に鏡見てね。本当に自由だから。先生とも生徒は和気あいあいだし。

――では休み時間もにぎやかですか。

三輪　休み時間は五分間しかなくて、教室移動の時間だから。校舎が多くて。

内山　全部、平家。校舎は七つあった。

――放課後はどんなことをしていましたか。

内山　クラブをやってましたサッカー部でした。

三輪　私は特定のクラブに入っていなくて、全部のクラブを回って遊んでた。

坪井　家の外も飾るの。ライトつけて。

三輪　家の形に赤とか青とか点滅するの。

坪井　盛大。雪の中で光ってて、すごくきれい。

内山　雪だるま作った。

三輪　私も。向こうの雪だるまは三つなんだよね。

内山　そう。だから二つ作ったら、一個足りなくて言われた（笑）。

坪井　昼は三ドル。夜は五ドル五十セント。

――ショッピングは、どんな店でしたか。

坪井　ショッピングセンター。モードって言われるとこ ろ。ビルがあまりなくて。

坪井　平たいの。日本は上に高いでしょ。向こうは横に広いの。物価が安くて。食べ物は本当に安い。コーラ五十セントが好きだった。

内山　最初、一ドル入れたときと高くなるけど……。

坪井　五十セント返ってきてびっくりしたもん。ただかなと思って。

――ハロウインはどうでしたか。

三輪　楽しかったよ。食用じゃないし、オレンジ色の大きいかぼちゃに顔を彫るの。その中にろうそくを入れるの ね。子供は仮装して「Trick or treat!」って言いながら近所を回るの。そこでピロケースの中にキャンディーとかチョコレートを入れてもらうの。

――クリスマスはどうでしたか。

坪井　クリスマスはうれしかった。プレゼントをいっぱいもらえたし、私の方からもあげなきゃいけないけど（笑）。

三輪　一つ一つの家にツリーが入るんだよね。みんなで飾りつけして。

坪井　いや、とんでもない。

三輪　三カ月で英語ができるっていうことじゃなくて、英語が分かりかける感じ。

坪井　何か聞こえてくるな、じゃなくて、それが分かり始める。ね。そういうことを聞くのも面白かった。

三輪　でも日本人って金持ちのイメージがあるよね。

坪井　そう。頭良くて金持ちで頭いいってイメージは相当あるみたいよ。向こうの数学って簡単だもん。

――ほかの教科はどうですか。

内山　数学ができれば、ほかの教科も……。

坪井　もうそれだけで頭いいって言われちゃう。

内山　試験パスだよ、顔パス。

――全体的にレベルが低いということですか。

坪井　というより、自分のレベルに合った授業をとれる。日本はついていけないのに教室にいなきゃいけない。

内山　それはさ、日本が学校でレベルを決めるってことだよ。

坪井　そうだよね。授業中に寝てると「お前は聞く気がないのか」って言われるけど、向こうは自分が嫌なら初歩のところにずっといればいい。

三輪　大学に行くとなるとまた導うけどね。

盛大な祭り

――どんなところへ遊びに行きましたか。

坪井　ほとんど映画かショッピング。

内山　映画は安いもんね。

三輪　夜、行った。夜はちょっと怖いけど。

坪井　季節によってやるスポーツが違うから、三回変えられるのね。私はテニス、スキー、ゴルフと入った。

三輪　放課後っていうのはずいぶん早いよね。学校は始まるのも早いし、終わるのも早い。八時頃始まって二時半に終わった。

――学校行事はありましたか。

三輪　日本みたいに体育大会のような行事はないよね。

坪井　そういうのはないけど夜のダンスパーティーがあった。

坪井　千鶴(22)
神久呂中出身
ハンドボール部
ミネソタ州、ノースオークスとアーデンヒルズに滞在

三輪　学校の体育館でやったよね。金曜日の夜とか。

内山　それを一時ぐらいまでやるんだよね。長いんだよ、夜が。

坪井　八時から始まってね。デイスコみたいになってるの。DJの人はいるし、ミラーボールは回ってるし、体育館は真っ暗だし（笑）。

――週休二日制ですか。

坪井　そう。土、日休みは良かったね。

三輪　なんか日本に帰って来たら一週間が長くて。

坪井　そう。テストばっかだし。あと一日って。

――友達はできましたか。

三輪　できますね。三カ月たつと本当に楽しいよね。

坪井　うん。私達も会話ができるくらいになると友達ができる。

――三カ月くらいで話せますか。

坪井　いや、とんでもない。

三輪　三カ月で英語ができるっていうことじゃなくて、英語が分かりかける感じ。

坪井　何か聞こえてくるな、じゃなくて、それが分かり始める。ね。そういうことを聞くのも面白かった。

三輪　でも日本人って金持ちのイメージがあるよね。

坪井　そう。頭良くて金持ちで頭いいってイメージは相当あるみたいよ。向こうの数学って簡単だもん。

――ほかの教科はどうですか。

内山　数学ができれば、ほかの教科も……。

坪井　もうそれだけで頭いいって言われちゃう。

内山　試験パスだよ、顔パス。

――全体的にレベルが低いということですか。

坪井　というより、自分のレベルに合った授業をとれる。日本はついていけないのに教室にいなきゃいけない。

内山　それはさ、日本が学校でレベルを決めるってことだよ。

坪井　そうだよね。授業中に寝てると「お前は聞く気がないのか」って言われるけど、向こうは自分が嫌なら初歩のところにずっといればいい。

三輪　大学に行くとなるとまた導うけどね。

盛大な祭り

――どんなところへ遊びに行きましたか。

坪井　ほとんど映画かショッピング。

内山　映画は安いもんね。

三輪　夜、行った。夜はちょっと怖いけど。

坪井　季節によってやるスポーツが違うから、三回変えられるのね。私はテニス、スキー、ゴルフと入った。

三輪　放課後っていうのはずいぶん早いよね。学校は始まるのも早いし、終わるのも早い。八時頃始まって二時半に終わった。

――学校行事はありましたか。

三輪　日本みたいに体育大会のような行事はないよね。

坪井　そういうのはないけど夜のダンスパーティーがあった。

坪井　千鶴(22)
神久呂中出身
ハンドボール部
ミネソタ州、ノースオークスとアーデンヒルズに滞在

三輪　学校の体育館でやったよね。金曜日の夜とか。

内山　それを一時ぐらいまでやるんだよね。長いんだよ、夜が。

坪井　八時から始まってね。デイスコみたいになってるの。DJの人はいるし、ミラーボールは回ってるし、体育館は真っ暗だし（笑）。

――週休二日制ですか。

坪井　そう。土、日休みは良かったね。

三輪　なんか日本に帰って来たら一週間が長くて。

坪井　そう。テストばっかだし。あと一日って。

――友達はできましたか。

三輪　できますね。三カ月たつと本当に楽しいよね。

坪井　うん。私達も会話ができるくらいになると友達ができる。

――三カ月くらいで話せますか。

坪井　いや、とんでもない。

三輪　三カ月で英語ができるっていうことじゃなくて、英語が分かりかける感じ。

坪井　何か聞こえてくるな、じゃなくて、それが分かり始める。ね。そういうことを聞くのも面白かった。

三輪　でも日本人って金持ちのイメージがあるよね。

坪井　そう。頭良くて金持ちで頭いいってイメージは相当あるみたいよ。向こうの数学って簡単だもん。

――ほかの教科はどうですか。

内山　数学ができれば、ほかの教科も……。

坪井　もうそれだけで頭いいって言われちゃう。

内山　試験パスだよ、顔パス。

――全体的にレベルが低いということですか。

坪井　というより、自分のレベルに合った授業をとれる。日本はついていけないのに教室にいなきゃいけない。

内山　それはさ、日本が学校でレベルを決めるってことだよ。

坪井　そうだよね。授業中に寝てると「お前は聞く気がないのか」って言われるけど、向こうは自分が嫌なら初歩のところにずっといればいい。

三輪　大学に行くとなるとまた導うけどね。

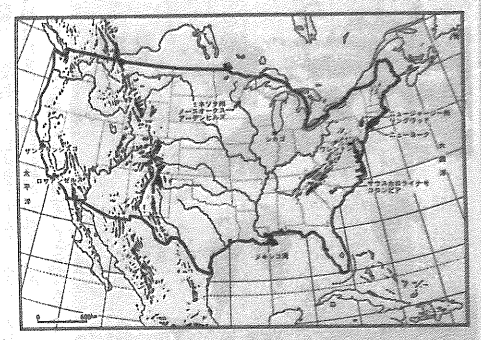
盛大な祭り

――どんなところへ遊びに行きましたか。

坪井　ほとんど映画かショッピング。

内山　映画は安いもんね。

三輪　夜、行った。夜はちょっと怖いけど。



アメリカ合衆国

ワークキャンプに参加して
――夏休みに熱い体験――

サマーショートボランティアとは夏休みを利用し、未体験の世界へボランティアとして挑戦し参加することにより、参加者に生きる尊さや、自分の生き方を考え、福祉に対する眼を育くんでいくことをねらいとして、昭和五七年度から静岡ボランティア協会が実施をしてきている事業である。県下八五カ所の社会福祉施設、社会施設において夏の暑い期間、連続四日間以上ボランティア活動に参加するプログラムである。

本校からこの活動に参加した人は六人。この数は決して多いとは言えないだろう。日本が高齢化社会になっていき、福祉活動が今以上に重要なものになっていくのは確実である。夏休みを利用して少し学校から離れて社会の中へ一歩踏み入れることも将来無駄にはならないだろう。

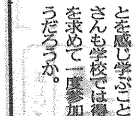
ここで四人の人にこのワークキャンプの感想を述べてもらった。

佐々木貴子
(27HR)

キャンプに参加できなく残念

初めは参加予定でしたが、家庭の事情で事前研修だけの参加となってしまいました。事前研修は、ワークキャンプをより充実させるためのもので、話し合いや、レクリエーション・車イスの体験実習などおこなわれました。初めて出会った人達とグループを作り、四日間行動を共にする。そういうワークキャンプでは、この事前研修がとても大切なものになります。レクリエーションで友達になる。そうすれば後の話し合いが和気あいあいと楽しいものでした。できればキャンプの方にも参加したかったと思います。

竹内奈緒子
(24HR)
充実した四日間



岡本　知子
(38HR)

私は今年初めての参加でした。福祉とは自分自身で学ぶことと高齢化社会が近づいていることを改めて実感した。

三回の事前研修のうち、二回欠席し、おまけに初日体調の悪くさせようとワークキャンプ（WC）に参加しました。

ったため四日間がとてつもなく長いと感じましたが、終わってみれば、なんと中身のつまった三つ。

①老人ホームの実践活動を通し感動的な日々だったろうと思い

②学校では学べない体験をする

③多くの人と触れあうことができた。

ワークキャンプの感想は次の通り。

福祉を学んで
友達の和も広がって行く

このワークキャンプは、昨年で聞いたら「ミッドナイト」だって（笑）。

アメリカと日本の距離

――アメリカでの生活を体験して、日本人としての自分をどう感じましたか。

坪井　向こうの人に日本のことを聞かれても、分からないことが多いのね。東京の人口とか、東京から浜松までの距離とか。本当はそれに答えるべきなのに自分が全然分かってない。

内山　けっこういろいろなこと勉強したよね。反対に。

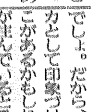
三輪　天皇が亡くなったよね。今までは違いイメージがあったけど、行ってみれば本当に近くなっていう。第二、第三の国際の国は変わりましたか。

内山　そのとき「お前も泣いたか」って聞かれた。

坪井　昭和というのを説明して由でもいいので、一度参加してみませんか。

三輪　日本の報道はニューヨークのことばかりで、南部校生よりの私達の方が低いかもしれない。

坪井　一年間は、英語に慣れる程度だよね。アメリカはね、いろいろな国の人が留学してるから、アメリカ行くと世界と友達になれる。



イナ州、コロンビアに滞在
内山　佳之(24)
附属中出身
放送部
サウスカロラ

三輪　もう文法忘れてるから、単元のもとか、すべて落とす。

坪井　一年間は、英語に慣れる程度だよね。アメリカはね、いろいろな国の人が留学してるから、アメリカ行くと世界と友達になれる。

内山　はっきり言って文法レベルからだと……。

三輪　私達が習ったのは会話だけだから。

坪井　ヘビメタみたいな兄ちゃんが毎週日曜日に教会行って、手合わせたりしてる。それから、日本はお寺があるってイメージが強いよね。

三輪　だって、日本に関して送られる映像が東都、奈良でしょ。私達の暮らしとは全然関わっていない。

――よく、日本はまだサムライの格好をしていると言われますが。

三輪　聞かれるけどね。このごろは東京のイメージもかなり知られているから。

――一年前と現在ではアメリカの印象は変わりましたか。

三輪　はじめは、怖いイメージがあった。

内山　怖いより不安の方が。

坪井　私は不安より期待の方が。今までは違いイメージがあったけど、行ってみれば本当に近くなっていう。第二、第三の国際の国は変わりましたか。

三輪　はじめは、怖いイメージがあった。

内山　怖いより不安の方が。

坪井　私は不安より期待の方が。今までは違いイメージがあったけど、行ってみれば本当に近くなっていう。第二、第三の国際の国は変わりましたか。

三輪　はじめは、怖いイメージがあった。

内山　怖いより不安の方が。

坪井　私は不安より期待の方が。今までは違いイメージがあったけど、行ってみれば本当に近くなっていう。第二、第三の国際の国は変わりましたか。

マーラビーチにて（一番右が内山さん）

校内トピックス

佐藤先生に赤ちゃん誕生！

数学科の佐藤育正先生に今年の七月二十九日、女の子の赤ちゃんが産まれた。友美ちゃんという名前であるそうだが、由来は特にないそうである。

初めて赤ちゃんを見たときは、誰に似ているのかなと思ったそうである。どんな子に育ってほしいのか聞いたところ、優しい子になってくれればそれでいいそうである。

友美ちゃんで二人目だが、もう子供はいらないそうであるる。今度、佐藤先生方がかけたら、「おめでとうございます。」と声をかけてみてはどうであろうか。

「奴江戸兵衛」がカレンダーに

波濤築で、中庭に大きくつくられ、賓員特別賞に輝き、新聞やニュースでも報道された11日間製作の壁画「奴江戸兵衛」の記憶も新しいものと思う。その壁画「奴江戸兵衛」がこの度、浜松市の未来のカレンダーに掲載されることになった。

これは、約二万五千冊に及ぶ空き缶の壁画が市民運動の〝ゴミ10%減少運動〟の写真募集に当てはまると考え、応募したところ、B部門の佳作に選ばれ、決定したそうである。

この壁画の写真は、平成二年の十二月の欄に載っている。

石彫ベンチの秘密!?

中庭に石彫ベンチがあることは、みなさんも知っていると思うが、そのベンチが、誰によって、どのような目的で製作されたのか、知っているだろうか。

この石彫ベンチは、第二十五回（昭和六十三年度）卒業生の記念品である。製作者は、本校芸術科の織田啓介先生である。材質は、ベンチ本体が黒御影石で、脚部は花崗岩でできている。

題（作品名）は〝飛翔〟で、文字からも分かるように、南高を飛翔する鳥のようになることを願って製作されたそうである。

この石彫ベンチ製作にあたって、いろいろとご尽労された藤原先生は、「これは、卒業していった先輩達だけでなく、今、南高で学んでいる君達についてもいえることでしょう。」とおっしゃっていた。

まるで鳥が飛翔するかのように……

図書委員会主催「生徒と語る」会

去る九月十八日、十月二十三日、十一月二十日、十二月十四日に図書委員会主催の「ベテラン先生、生徒と語る」が行われた。

この企画の主旨は、図書課長の竹内先生によると、「長い教員生活を経てきた先生方が人生のうえで、沢山経験してきたことを生徒に語ることだそうである。しかし、実際のところ参加者は約二十名で、とても少ない。そうだ。その理由の一つに、生徒に沢山の用事があることが挙げられる。

参加した人から、日常生活の中で、今までずっと気が付かなかったことがいろいろ分かり、とてもよい勉強になったという感想が聞かれた。これは、目の前で、じかに聞くものであるので、テレビを見たり本を読むのとは、何か違うものが感じられるのではないだろうか。

「ベテラン先生、生徒と語る」の次回は、一月（宮崎　清先生）の予定である。

〝人生について〟というテーマは、多少固苦しいイメージがありそうだが、そんなことは全くないので、ぜひみなさんも参加してみてはいかがだろうか。

また、来年二月には三年前中学校から南高に来られて、来年度から又中学に戻られる須山嘉七郎先生の〝南高での三年間の思い出〟を語る会が行われるそうである。

生徒の眼もしだいに真剣に

編集後記

地球の温暖化が叫ばれているようですが、日ごとに寒さが増しています。風も強く、冷たくなり、特に自転車通学の人はこの寒さを実感しているでしょう。この冬も、風邪などひかないように過ごしましょう。

今回、特別企画としてアメリカのホームステイの座談会を試みました。ニューヨークなどの大都市の映像ばかりがニュースでは放映され、アメリカといっても私たちはその一部しか知りません。実際にアメリカでの生活を体験した三人も、アメリカの家族や友達と接して、出発前の印象とかなり変わったようです。みなさんにも、この座談会を通して少しでも違った角度でアメリカを見てもらえたら思います。もちろん、ここに載せた話がアメリカの全てではありませんので、もっとくわしく知りたいと感じた人は、新聞部にお越しください。

さて、二学期も終わり、残すは三学期だけになりました。まとめの学期にさい先よいスタートを切るためにも、冬休みの過ごし方は重要になります。勉強にしても遊びにしても、計画を立てるなどして短期間の冬休みをより充実したものにしていきましょう。

年末はどの家庭も忙しくなります。日ごろ、勉強や部活でなかなか手伝いができない人も、この冬休みは何か一つでもやってみたらどうでしょうか。

ハロウイン

万聖節（All Saints Day）の前夜祭。十月三十一日の夜。

黒魔などの扮装をした子供が「Trick or treat!（ごちそうくれなきゃ、いたずらするぞ）」と言って近所を回り、近所の人は「I'm scared.（わー恐い）」と言って菓子や果物を与える。

予餞会

（昨年度予餞会）

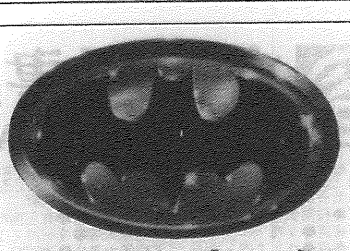
日時：1月31日(水)　午後
場所：体育館

おたのしみに！

平成元年度　前期生徒会

スーパーグリーン
FRESH No.1
いぐち
県立浜松南高校前
浜松市法枝町616
TEL 41−0050

大ヒット!!上映中。



浜松中央劇場
田町ショッピングセンター・中央ビル4階
TEL0534-53-0997

凄いうえに、凄いらしい。

河合塾一全統模試
全国のべ2、214、916の
受験生が参加

○全統基礎力テスト ドッキング判定
○全統マーク模試 ○全統記述模試
○主要大学入試オープン ○全統私大・短大模試
○全統論文模試 ○早慶レベル模試
○全統高2模試 ○全統高1模試

全模試を浜松会場で実施!!
冬期講習会申込受付中！
お申し込み・お問い合わせ
河合塾浜松事務所
浜松市田町324−3 TEL(0534)53−5581